

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

獅子頭背負い祭りの顔になる
 畑のもののおすそわけする秋彼岸
 母の忌も七十五回に萩の道
 大夕焼け優しさ少しとりもどす
 初鮭のチャンチャン此処に妻在れば
 コスモスの情愛まつ直ぐ咲きにけり

稲田 文江
 大山みどり
 長谷川アキ
 福原 仁子
 山村 幹雄
 高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

課題吟 幸
 幸は疲れるものよ曾孫八人
 潮騒にのんびんだらり鮭を待つ
 添え書きに友の幸せ仄々と
 人並に幸望み不幸ぐせ
 孫達にまごつく婆で幸せよ
 幸不幸己に問いて幸と出す

大山 翎
 山村 幹雄
 阿部 麗紅
 星 愛子
 加藤 未貴
 橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

山なみの中に目だつく紅葉かな
 戦争を知らぬ政治家怖くなる
 明日の日を祈る心で草むしり
 秋日和紅葉眺め散歩する
 句の会で遠足楽しみ水族館
 盆も過ぎ秋風さらりほほをなで
 朝つゆに迷う佛の花鋏
 浴槽に伸ばせし脚の太ものの皺
 秋祭り収穫祝う赤とんぼ
 孫の笑み一才祝うかわいい顔

高橋 幹雄
 笹島力ヨ子
 河村みよ子
 芳川 乙美
 加藤 明敏

短歌

心友愛会

ヤーコンの茎にぶどうのつるが延び
 風に揺られて握手をしてる
 足腰に注意を続け元気つけ
 会の為にも笑顔を忘れず
 青い海一度怒れば泥の山
 人も飲みこみ家まで連れて
 孫からの贈り物あり笑顔ふえ
 夫と暮らす老いて仲よく
 友見舞う老い先思う我も又
 足腰かばい買い物重い
 散歩すき犬と仲よく今朝も又
 あの道この道気ままにこう
 コスモスや風に揺られて微笑みて
 立ち止まりみる小春日の中
 体調を整え歩く隣まで
 気分もすぐれ秋の青空
 霜近い取り入れ急ぐ青い空
 風邪も引かずに今日も一日
 心友愛会友と会えてか楽しいね
 感謝で終える一日ありて
 もどかしい過ぎたる日々の悉を
 七十路の今は成す術もなく
 声高く北へ向かうか鳥達は
 仲間とはぐれず野山を越えて

前川 静江
 小川 房子
 堀井あやの
 浅野 京子
 角田美代子
 山岸 明美
 長屋美代子
 千葉 光恵
 山久保敬子
 小澤 つや
 佐藤 成子
 星 愛子

編集後記

■昭和29年に閉山した浦幌炭礦。往時の施設やヤマの人々が住んだ市街地の手作りジオラマ模型を、同市街地出身の杉本年明さん(79)「札幌市在住」が作り続け、これまでに町立博物館に25種類寄贈され、当時の様子を伝える貴重な資料となっています。

■杉本さんの模型は特別展などで一般に披露されてきましたが、このたび一部を常設展示で広く来館者に見てもらふことになりました。

■浦幌を離れて50年近くなる杉本さんですが、故郷への思いは今も変わらず。今回の模型の設置は職場体験の中学生の手で行われました。浦幌炭礦の記憶と故郷への思いがどのように受け継がれていくのか、見守りたいと思います。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。